

粗大ごみの衣装ケースが新たな資源に!! 水平リサイクルに向けた実証事業を実施します！

川崎市では、かわさきプラスチック循環プロジェクト（かわプラ）の取組として、参画事業者である J&T 環境株式会社及び株式会社 J サーキュラーシステムと連携し、粗大ごみとして排出されるプラスチック製衣装ケースの水平リサイクル*実証事業を 9 月 10 日（木）から 10 月 30 日（金）まで実施します。

衣装ケースは単一素材のポリプロピレン（PP）で製造されているものが多く、高品質な再資源化が期待できる一方、その多くは焼却処理されています。本実証では、粗大ごみ中の衣装ケースを選別・回収し、再生材の品質評価や有価性の確認を行い、将来的な資源循環モデルの構築を目指します。

※水平リサイクル…使用済み製品を品質的に同等な製品の原料として再利用すること

- 1 期 間：令和 8 年 9 月 10 日（木）から令和 8 年 10 月 30 日（金）まで
※実証事業の状況により期間の延長や短縮の可能性があります。
- 2 対 象 物：粗大ごみで回収した衣装ケース
- 3 実証事業の内容
粗大ごみ中の衣装ケースを回収し、再生材の製造及び品質評価を行います。
また、再生材の物性や有価性等を確認し、水平リサイクルの可能性及び事業化に向けた課題について検証します。
- 4 実証事業のスキーム
 - ①浮島処理センター粗大ごみ処理施設（川崎区浮島町 509 番地 1）にて、粗大ごみの中から衣装ケースの回収及び保管を行います。
 - ②保管された衣装ケースを J & T 環境株式会社が回収し、株式会社 J サーキュラーシステムの川崎スーパーソーティングセンター（川崎区水江町 5 番地 1）へ搬入します。
 - ③搬入された衣装ケースについて川崎スーパーソーティングセンターで再生材の製造及び品質評価を行います。
- 5 各主体の役割
【全体統括、衣装ケースの選別・保管、資源循環モデルの検討】
 - ・川崎市
【衣装ケースの回収、再資源化、品質評価】
 - ・ J & T 環境株式会社（本社：横浜市鶴見区）
 - ・株式会社 J サーキュラーシステム（本社：川崎市川崎区）

※かわさきプラスチック循環プロジェクトについてはこちらを御覧ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139506.html>



市 HP(かわプラ)

【問合せ先】

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当：鈴木
電 話 044-200-2557（内線：31101）